



福岡県立春日高等学校
同窓会会報誌



2025.6
vol. 27

令和7年度
春日高校同窓会
開催決定

2025年8月9日(土)
16:30~19:30
ホテルニューオータニ博多
4階 鶴の間

思い出より



内田考昭さん(23期生)



中橋裕介さん(23期生)



牟田口香さん(23期生)



春日高校からのお知らせ

福岡県立春日高等学校 創立50周年にむけて

受け継がれる春日魂

ダンス部・放送部



春日高校
同窓会公式サイト

福岡県立春日高等学校 沿革 創立50周年にむけて

1978年 2月1日	福岡県立春日高等学校(普通科180名)設置 (初代校長伊藤朝大)	1981年 3月1日	第1回卒業証書授与式(卒業生177名)
1978年 3月15日	福岡県立福岡盲学校校舎を仮校舎として使用	1981年 4月7日	第4回入学式を行い、生徒総数30学級、 1350名となる
1978年 4月10日	福岡県立春日高等学校開校式並びに第1回入学式を春日市立市民スポーツセンターにて举行	1982年 10月1日	創立5周年記念式典を举行
1978年 10月23日	生徒会結成総会を行う	1988年 6月18日	創立10周年記念式典を举行
1979年 3月22日	新校舎への入校式举行	1997年 11月1日	創立20周年記念式典を举行
1979年 4月9日	第2回入学式により、生徒総数14学級、 630名となる	2007年 11月2日	創立30周年記念式典及び記念公演を举行
1979年 10月24日	校歌を制定し校歌発表会を行う	2017年 10月28日	創立40周年記念式典
1980年 4月8日	第3回入学式により、生徒総数24学級、 1080名となる	2027年	福岡県立春日高等学校 創立50周年

令和7年度 「福岡県立春日高等学校創立50周年記念事業準備委員会」の組織化

- 目的は、学校・同窓会・PTAの協力により、創立50周年記念事業の準備を行い、本校の教育振興を図ること。
 - 目的を達成するために、次の事業を行うための企画立案及び実施の準備を行う。
- なお、然る時期に創立50周年記念事業実行委員会を立ち上げ、事業を引き継ぐ。
- 1 創立50周年の歴史的意義について広く在校生、卒業生、地域社会に周知を図る。
 - 2 創立50周年を祝い、三者の協力のもとに、本校の教育振興のために記念事業を実施し、教育環境を整備する。

令和8年度 「福岡県立春日高等学校創立50周年記念事業実行委員会」の立ち上げ

令和7年度 春日高校同窓会懇親会



【同窓会役員】

会 長 ――― 藤田俊郎(1期)

副会長 ――― 新屋光太郎(15期)

常任理事 ――― 小國佳代(4期) 林 靖子(7期) 柴田一寿(22期)

事業執行理事 ― 総務部／書記・会計(予算管理)・規約・役員会運営・学校側との連絡など
山崎杏子(3期) 小國佳代(4期) 林 靖子(7期)
山室勇二(30期)
会計 尾上英樹(17期) 森岡愛一郎(20期)
東京支部連絡係 森田哲次(4期)
事業部／総会・支援事業など
稲吉一馬(17期) 西里勇希(28期) 山田雄斗(30期)
中村真人(30期)
広報部／WEBサイト・会報誌・広告・データ管理など
國崎恭子(5期) 小田由恵(12期) 柴田一寿(22期)
岩崎里美(29期)

監 事 ――― 樋口昭子(4期) 山下裕之(11期)

【相談役】 川崎英彦(1期) 松田美由紀(15期)
(同窓会事務局補助) 三善由香

このたび、下記により同窓会を開催いたします。
皆様お誘いあわせの上、多数のご参加を心よりお待ちしております。

- 【日付】 8月9日(土)
- 【時間】 16:30～19:30(16:00受付開始予定)
- 【会場】 ホテルニューオータニ博多 4階 鶴の間(立食形式)
- 【会費】 5,000円(当日受付)



【各回代表理事】

川崎英彦(1期)、小林ひとみ(1期)、坂本浩一(2期)、内山鉄太郎(3期)、井上孫紹(5期)、保坂明子(6期)、高柳 稔(14期)、木村利愛(14期)、松崎剣太(15期)、松田美由紀(15期)、小南安生(16期)、飯盛健太郎(20期)、福田桃子(25期)、阿部透(25期)、大井彬代(26期)、大神奏弘(26期)、築地雄太郎(27期)、川崎侑希(27期)、坂田晃一(28期)、園田菜津美(28期)、三藤誠也(29期)、古城戸綾(29期)、松岡正一(30期)、山田千春(30期)、荒川大地(31期)、山口真未(31期)、嘉村雅史(32期)、松尾侑紀(32期)、光山泰伸(33期)、田中愛美(33期)、田中智大(34期)、三宅 温(34期)、禰田雄太(35期)、木村 唯(35期)、中原幸哉(36期)、鐘ヶ江佳純(36期)、墨 勇哉(37期)、高須賀美咲(37期)、嫩 大輔(38期)、山脇修希菜(38期)、中田 樹(39期)、大内れもん(39期)、矢口千裕(40期)、松本菜湖(40期)、山口真澄(41期)、御厨玲奈(41期)、藤井大誠(42期)、江川彩美(42期)、山口 紘(43期)、藤木謙ノ輔(43期)、植本聖力(44期)、盾石紀凜(44期)
新任 齋藤奏輝(45期)、佐藤愛子(45期)

【理事】

上妻聖人(陸上部)、佐藤紗里(吹奏楽部)、中野利範(バドミントン部)、井元美恵子(茶道部)、時川裕樹(野球部)、藤田俊郎(1期)、山崎杏子(3期)、小國佳代(4期)、樋口昭子(4期)、森田哲次(4期)、國崎恭子(5期)、林 靖子(7期)、山下裕之(11期)、小田由恵(12期)、新屋光太郎(15期)、尾上英樹(17期)、稲吉一馬(17期)、森岡愛一郎(20期)、柴田一寿(22期)、藤田恵里子(22期)、西里勇希(28期)、岩崎里美(29期)、山室勇二(30期)、山田雄斗(30期)、中村真人(30期)
新任 砂川美紀(23期)、児之原利佳(23期)、中橋裕介(23期)、松星正則(7期)、野田大介(17期)、野上竜太郎(32期)

本校は、我々同窓会員のフレンドシップを基に母校の発展に貢献することを目指して設置しています。

昨年の同窓会は、22期生を幹事に開催され、150人あまりで、母校を懐かしんでおり、今後ますますの参加者を期待します。

我々の母校は2027年に創立50周年を迎えます。母校の支援策には、教育活動を中心とした「ソフト面」施設器材を中心とした「ハード面」、様々なことが考えられます。また、その支援策実現のために、「人」「もの」「金」「コミュニケーション」が不可欠です。

本年度は、創立50周年の準備委員会を

本校同窓生の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対し、多大なる御支援と御協力をいただき心より感謝申し上げます。

令和7年度人事異動により、前任の不老貴規校長の御転勤にともない、福岡県教育委員会より着任しました深堀政一と申します。教諭、管理職ともに第六学区内の高校に勤務しておりましたので、第五学区内の春日高校で新たな刺激をたくさん受けることができることに喜びを感じています。また、この春日高校は、教育委員会でお世話になった先輩方が歴代の管理職を務められた学校です。今回このようなご縁をいただきましたことを光栄に思うとともに、職責の重さに身の引き締まる思いであります。本校の更なる活性化に、誠心誠意努力してまいります。



8月9日(土) 令和7年度同窓会(ホテルニューオータニ博多)でお会いしましょう。

本校は、今年で創立48年を迎え、令和9年には創立50周年を迎えます。半世紀にわたり多くの人材を育ててきた本校も、今や卒業生は1万8千名を超え、地域のみならず、全国各地や海外の様々な分野で活躍されています。卒業生の皆さんがそれぞれの道で活躍している姿を見聞きするたびに、春日高校の教育の成果を実感し、誇りに思っています。

また、本校は、学習活動はもちろんのこと、部活動や学校行事、生徒会活動等、高等学校教育で実施できるすべての教育活動に生徒が全力で挑戦し、教職員はそれを全力で支援する学校です。今日も、教室では熱心に勉学に励む姿や、グラウンドでは部活動で汗を流す姿が見られます。生徒の真剣な眼差しや仲間との絆は、未来への希望を感じさせてくれます。

これからも、教職員一同、「新しい時代を担う人間として、知育・徳育・体育の調和を図り、豊かな創造力を持ち、自ら学び、個性を伸ばし、多様な人々との協働を実現しつつ、地域や社会の発展に寄与する人材を育成する。」との教育目標のもと、「世紀を拓く」人材育成に邁進してまいります。

同窓生の皆様におかれましては、ぜひ後輩たちの姿を様々な機会にご覧いただき激励いただくとともに、今後とも母校に対する変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

プレミアム研修の お知らせ 社会人講演会の お知らせ

春日高校では、以前は「ハイレベル研修」を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から4年間中止を余儀なくされていました。そしてようやく令和5年度から「プレミアム研修」と名称を変え、東京大学をはじめとした首都圏の大学や企業を訪問しています。現役の2年生から広く参加希望者を募り、毎年100名近くの生徒が参加しています。目的は生徒が先端企業や難関大学の研究内容等に直に触れることにより、チャレンジ精神を醸成し、世界へ視点を向けてもらう機会を設けることです。令和7年度は8月4日～6日の日程で実施されます。

春日高校では社会の各方面で活躍している春日同窓生による社会人講演会を2017年より毎年実施しています。毎年20名程度の同窓生有志が、キャリア意識や高校時代の過ごし方等について熱く講義を行っています。後輩のキラキラした眼がこれからの社会を作ってくれるのだと確信できるひと時です。今年は10月17日(金) 5・6時限目にあたる13時～15時を予定しています。講義をする同窓生も募集しています。「我こそは」と思われる方は同窓会事務局へご連絡ください。

学問もスポーツも！
受け継がれる

春日魂



ダンス部

「結果よりも過程が大事だと思っています」

インタビュに答えてくれたのは部員数58名のダンス部をまとめる部長の南里結奈さん。

裏方として動くことが多いですが、日頃放送部と関わりのない先生が私達の仕事に気づいてくれて皆の前で放送部の話をしてくれたことがありました。やりたくてやっていたことだけど、気づいてくれる人がいると、よりやりがいを感じて達成感を持てます。

放送部では自分で読む文章を考えたり、情報を受け取って人に伝えることもしています。将来仕事でプレゼンテーションをする時や日常生活でも役に立つ力を身につけられるのも魅力の一つだなと思います。

——放送部の目標は何ですか？

東京で開催される全国大会に全員で出場することです。3年生は最後の大会に



6月の九州大会に向けて練習に励んでいます。

——ダンス部としての目標は？

2年前に同好会から部活に昇格しましたので、ダンス部のイメージをもっと向上させ、元気があるとか挨拶がしっかりしているとか、そういうプラスの面をアピールしていきたいです。

——ダンスにはどんな大会がありますか？

6月にDCC、夏の大会、そして冬には新人戦があります。大会出場は基本的には先生が提案してくれますが、自分達で出たい大会があれば先生に提案することもあります。

以前出場した九州の大会だと、24から25校が出場していました。大会には審査員がいて、テーマに沿っているか、表現力、メイク衣装、曲などが評価されます。大会ではもちろん賞を取りたいと思って挑んできますが、それまでにどれだけ練習を頑張れるかが私は大事だと思っています。

——どんなダンスを踊っていますか？

ダンスは全体で1つのテーマに合わせ作りませんが、1年生チーム・2年生チーム・3年生チームに分かれてそれぞれで選曲したり、ダンスを創作しています。

チームによってスタイルが違って、例えば2年生チームは結構激しく踊りたいタイプなので、バチバチ踊る感じですよ。

なりません。

地区大会、県大会を勝ち抜けば全国大会に出場できます。

大会には個人戦もありますが、テレビ番組部門やラジオ番組部門といった団体戦のような部門があります。私達の代はラジオドラマを主に作ってきました。

——放送部での思い出は何ですか？

思い入れのある制作作品の「君のキューピッド」というラジオドラマが九州大会の決勝に進出したことです。何度も構成を練り直して、撮影や編集に苦労して、色んな方に協力してもらった作品です。大人になったらきっと忙しくなるから、皆でこんな時間に作って作れることってないじゃないですか。大変でちょっと嫌になる時もありましたが、そんなことも含めてとても本気で取り組めた作品でした。

予選後の決勝出場校のネット公开发表では、私達のラジオドラマの題名が載っていて肩肌が立ちました。決勝でまた上映された時は色んな人に見てもらえて、伝えられたことがワクワクしてとても嬉しかったです。

——春日高校のOBの方々にメッセージをお願いします。

春日高校放送部は途絶えかけた時もあつたけど、長い歴史と功績のある部活で卒業した先輩達から引き継いできたものが多いです。

私達はゼロからのスタートではなく先輩達のおかげでここまでこれたと感じています。

先輩達から引き継いだものをこれからも後輩達に繋げて、放送部がいつまでも続いてほしいなと思っています。

——ダンス部の魅力は何ですか？

やっぱり人に見せて楽しんでもらうものなので、人に感動を与えることができる場所です。

——春日高校のOBの方々にメッセージをお願いします。

イベントや大会に向けて、パフォーミングやクオリティーをどんどん上げていて、大会では春日高校の名前が聞けるように頑張るので応援してください。伝統の挨拶と掃除も引き継いでいきます！



令和6年度

部活動成績(運動部)

男子バレーボール部	第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会福岡県大会 県大会出場
男子バドミントン部	令和6年度総合体育大会中部ブロック予選 団体男子5位(敗者復活戦優勝)、 県大会出場 令和6年度総合体育大会 団体女子県大会ベスト8 夏季高校生団体バドミントン大会 団体女子Aクラス優勝 インターハイ県大会出場
女子バドミントン部	福岡県高等学校総合体育大会ハンドボール競技選手権大会 福岡県予選 ベスト8
男子ハンドボール部	九州大会出場(女子)
女子ハンドボール部	全国高校サッカー選手権二次予選(県大会)ベスト12 全九州高等学校選手権新人水泳競技大会(末広杯)個人男子3名、女子3名、 リレー男子2種目、女子2種目出場
剣道部	福岡県高等学校総合体育大会卓球選手権大会 県大会出場 (男子団体・ 女子ダブルス1ペア)
サッカー部	甲子園県大会予選ベスト8
水泳部	
卓球部	
野球部	

令和6年度

部活動成績(文化部)

書道部	県大会優秀賞
吹奏楽部	県大会優秀賞 九州大会銀賞
美術部	県大会優秀賞
ESS	第43回福岡県高等学校英語スピーチコンテスト暗唱の部県大会第3位
写真部	福岡県高文祭写真展入選7名 県大会個人最優秀賞
放送部	高文祭 アナウンス部門：九州大会 優良賞(決勝進出) 高文祭 ラジオ番組部門：九州大会 優良賞(決勝進出) 総文祭 朗読部門：優良賞 (全国ベスト8) NHK杯 朗読部門：全国大会 準決勝進出 NHK杯 朗読部門：県大会入賞 アナウンス部門 県大会出場(決勝進出)
合唱部	第39回福岡県高等学校総合文化祭福岡県大会 優秀賞 第91回NHK全国学校音楽コンクール福岡県コンクール 出場
箏曲部	県大会2位
ダンス部	第14回全日本高等学校チームダンス選手権大会九州予選 大編成部門 ベスト8 第17回日本高校ダンス部選手権DANCE STADIUM九州大会 ピッククラス出場 令和6年度ダンスドリル秋季競技大会九州大会 HIPHOP女子Large編成部門2位

文化部・体育部一覧

文化部	●生物 ●書道 ●化学 ●茶道 ●吹奏楽 ●美術 ●文芸 ●演劇 ●物理 ●ESS ●写真 ●ヘルシーライフ ●放送 ●合唱 ●箏曲 ●情報処理 ●学術研究会 ●生徒会執行部 ●ダンス
-----	---

体育部	●バレーボール ●バドミントン ●ハンドボール ●陸上競技 ●剣道 ●柔道 ●サッカー ●テニス ●水泳 ●バスケットボール ●卓球 ●山岳 ●野球 ●弓道
-----	--

令和7年度合格状況(既卒生を含む) ※ ()は既卒生内訳数

国公立	九州大学 12(3)名、東北大学 1(1)名、九州工業大学 25(2)名、福岡教育大学 21(2)名、福岡女子大学 7名、北九州市立大学 15名、福岡県立大学 4名、熊本大学 25(1)名、長崎大学 14(1)名、佐賀大学 30(1)名、大分大学 3名、宮崎大学 5(1)名、鹿児島大学 8名、広島大学 6(1)名、帯広畜産大学 1名、東京学芸大学 1名、信州大学 1名、静岡大学 1名、愛知教育大学 1名、金沢大学 1名、京都教育大学 1名、香川大学 1名、島根大学 2名、山口大学 8(2)名、東京都立大学(首都大学東京) 4(1)名、横浜市立大学 2名、大阪公立大学(府立) 2名、神戸市外国語大学 2名、長崎県立大学 2名、熊本県立大学 3名、高崎経済大学 1名、岡山県立大学 1名、広島市立大学 1名、下関市立大学 1名、山口県立大学 1名、高知県立大学 1名、宮崎公立大学 1名
医薬科系(内訳数)	熊本大学薬学部薬学科 1名、熊本大学薬学部創薬・生命薬学科 1名、福岡大学薬学部薬学科 15名、福岡国際医療 準大学 海上保安大学校 1名 福祉大薬学部薬学科 5名
私立大学	早稲田大学 3(1)名、東京理科大学 2名、明治大学 5名、中央大学 4(3)名、法政大学 2名、同志社大学 8(3)名、筑紫女学園大学 14名、関西大学 8(4)名、関西学院大学 14(5)名、立命館大学 30(15)名、西南学院大学 207(13)名、福岡大学 422(21)名

放送部



九州大会でラジオドラマが決勝戦まで進出、目標は全国大会出場。部員数15名の放送部。

小学生の頃の放送委員会の経験をきっかけに入部した部長の喜浦梨琉夏さん、放送部の先輩への憧れと人前で話すことの興味をきっかけに入部した副部長の古川陽奈さんがインタビュに答えてくれました。

——放送部の魅力は何ですか？

縁の下力持ちとして学校行事を支えること、コミュニケーション能力や伝える力を養えることです。

学校行事ではスピーカーを運んだり、音量の調整や司会をすることもあります。



【23期生】
ファッションスタイリスト
株式会社A-T 代表取締役社長
うちだ たかあき
内田考昭 さん

高校時代の思い出

高校時代は、まさしく「青春」を謳歌した3年間でした。まず思い浮かぶのは、今でも大切な仲間達と切磋琢磨した野球部での思い出です。授業が終わる夜遅くまで、甲子園を目指し一生懸命練習に励みました。3年時には主将を務め、多くの部員を纏めることの難しさも学びました。3年最後の夏の大会、全校応援。負ければ引退という中で惜しくも敗退。満足するには程遠い結果でしたが、この瞬間しか経験できなかった高校時代一番の財産です。また、学校生活においてもクラスメイトにも恵まれ、とにかく毎日を笑って過ごした記憶ばかりが思い出されます。野球部の活動で培った負けん気の強さや、沢山の友達（時に恋愛で）と磨いたコミュニケーション能力が、その後人生において大きく役に立っていると感じています。もちろん勉強も必死に頑張りました（笑）

進学そして専門学校時代の思い出

受験では複数の大学を受験しましたが、希望通りの結果は得られませんでした。進路に悩み、同級生が続々と大学進学を決めていく中で、私は他の人とは少し違う道として、服

飾関係の専門学校に進学することを決意しました。ただ、大学進学率がほぼ100%に近い春日高校の中で、「単にファッションが好きだから」という安易な考えで決めはしたものの、自分自身もファッション業界でどう人生を切り拓いていくかの道筋が見えておらず、不安を感じていました。当然のことながら、両親にも不安や心配をかけてしまいました。しかし、入学した専門学校での生活は、専門知識や実技を学ぶと同時に、同じ志を持つ仲間たちとの刺激的な毎日の中で、自分のファッションに対する感覚が磨かれていったと思っています。今振り返ると、それは天職へと導かれていた道だったのでないかと感じています。

社会人生活について

専門学校を卒業し、ファッションスタイリストを夢見て19歳で上京しました。知り合いの伝手で、アシスタントとして働くことになり、最初はテレビドラマの現場に入りました。生活リズムの変化はもちろん、回りにテレビの環境は、驚きと刺激の連続でした。2015年に独立し、個人での事業を開始しました。アシスタント時代から繋がりのある方々から仕事の依頼を頂き、順調にスタートを切ることができ今日に至ります。これまでの人生を振り返り大切に思ふ事は、「続けて努力すれば、必ず結果は出る」ということ。そして、「続けることこそが一番難しい」ということです。まさに、イチローさんの言葉そのものです。2022年には個人事務所である、株式会社A-Tを設立し、現在国内、海外問わず様々なクライアントとお仕事をさせて頂いています。また、自身の経験を活かし、本業の傍ら、福岡の専門学校で講師を務めています。ファッションスタイリストを目指す若者たちの窓口

となれるよう、地元貢献できるような活動が続けていきたいと考えています。

春日高校の生徒に期待する点

私が今伝えたいことは、夢を口に出してほしいという事です。これには理由がありま

す。私は2016年ある有名なアーティストのライブをみた際に、絶対にこのアーティストのスタイリングをしたいと口に出し続けました。その結果、3年後にその夢が叶いました。まさに「Dreams come true」です。自ら発した言葉は、言葉になると同時に、自分に対しての期待でもあります。それが、夢への大きな後押しになる事を忘れないでください。恥ずかしがらず大声で叫べば、夢はいつか現実となります。* 人生は一度きり*です。まだまだ皆さんの可能性は無限大です。どんな事があるとも、今過している春日高校の同級生、先輩、後輩、先生方、家族、関係する全ての人に感謝をして、前向きに楽しみましょう！私は毎日最高で悔いのない人生です。これからも、母校の卒業生の活躍を見届けたいと思います。これからも皆さんの活躍を期待しています！



【23期生】
マクドナルドフランチャイジー
有限会社ニューステージ 取締役
なか はし ゆうすけ
中橋裕介 さん

春日高校には姉が通っていたからという理由で進学を決めました。

そして、今でもその選択は間違いはなかったと思っております。

今回はこのように自身を振り返るきっかけを頂けたこと、春日高校に携わる多くの方々と繋がりを持てる素晴らしい機会をいただけたことに感謝いたします。ありがとうございました。

高校時代

春日高校での3年間を振り返り、良い思い出しかなかったというのが、卒業から22年間持ち続けている気持ちです。

あっという間の高校生活でしたが、日々の学校生活での先生方や同級生、先輩後輩との多くの会話や共有した時間は今の自分に多くの学びを与えてくれたかけがえのない物です。人との出会いや縁を大切にしている気持ちは春日高校が与えてくれた、今の私のベースとなっており、そして最も大切にしている姿勢の1つになっています。

部活動や体育祭には特に夢中になったと心に強く残っています。所属していたサッカー部で熱中症になる程走り込んだ事や試合でチームメイトと喜びを分かち合ったこと、時には言い合いになり議論を交わしたことはまさに「ザ・青春」でした。体育祭では応援団の練習含めて様々な人との1つの目標を共有し、協働することの重要性和難しさを学びました。

大学進学と社会人海外留学

大学は高校入学時に建築系へ進むと決めておりました。理由は祖父が建築士をしていたというまた安易な理由でした（笑）と同時に高校2年時に父がマクドナルドのフランチャイジーを開業し、店舗の近くにあった大学を選択いたしました。勉強をあまり真面目にしていなかった私にとっては別の選択肢はありませんでした。

どちらかという大学よりもマクドナルドにのめり込み、父の背中を追いかけることや店舗で働く幅広い年代の方々と様々な経験をすること、自身の成長や仕事の楽しみにハマっていききました。

大学卒業後は建築系へは進まずに父の会社の正社員になりました。入社の前年には異なった経験や自身の更なるスキルアップの為に某ITベンチャーでも仕事をいたしました。ここでも多くの人との出会いがあり、今でも交流を持っています。他者に敬意を持ち、多様性を受け入れながら強みを伸ばしていくスキルはこれから学びました。

しかし、入社後に壁にぶち当たります。学生時代に培ったスキルでより高いレベルの職位や質の高い仕事に取り組めるであろうと考えていた私の甘い考えや、立場が上がってしまったことでチームメンバーへの敬意を欠いてしまっていました。振り返ってみるとこのでの苦しい経験は自分を変える良いきっかけになったと思っています。

父と相談をし、仕事から1度離れてカナダのバンクーバーへ留学を決めました。

バンクーバーでは本当にたくさん人の良い経験ができました。住みやすい街に素敵な人々、美味しい食事など書ききれないほどです。

留学開始から3日目で猛烈に帰りたいくはなりましたが、なんとか1年半生活し、基礎的な英会話スキルと人生経験を積むことができました。自分自身と向き合った日々や言語という壁を乗り越えて海外の方々とコミュニケーションを取ることで得たものは今の私の軸になっています。

これから

春日高校から始まった物語は、大学進学やマクドナルドでの経験、海外留学、そして私自

身の結婚も含めてまだまだ道半ばですが、かなり充実したものになっています。

それも今まで出会ったくださった方々との縁や、多くの仲間と共にした時間がもたらしてくれた貴重な財産です。父の会社を継承し、従業員や大好きな福岡という街にとって意義のある会社へと成長させていきます。これからは仲間や福岡、マクドナルドへの恩返しの旅が始まります。

春日高校の皆さんへ

自分自身が信じた道を必ず突き進んでいただきたいというのが私から皆さんへの期待です。春日高校から日本や世界に良い影響を与えられる人材が輩出されることを期待しています。目標を持つこと、その目標に対し仲間と協力すること、仲間や出会う人々との縁を大切にすること。そして、家族や大切な人への感謝を常に忘れないよう日々の何気ないことも大事にしていってくださいね。



【23期生】
イラストレーター
む た ぐ ち かおり
牟田口香 さん

高校時代の思い出

楽しかった高校生活。朝課外や定期試験は苦行でしたが、楽しかった思い出の方が多

いいのは良い友人関係に恵まれたおかげだと思っています。特に2001年の修学旅行のエピソードは避けて通れません。この年に起きたアメリカ同時多発テロにより出発直前で行先変更となった私たちの修学旅行は生涯忘れられない出来事です。吹奏楽部で練習に励んだ経験も自分を成長させてくれたと思います。3年間共に過ごした部活の仲間との思い出や絆は特に強い心の支えとなりました。

進学そして大学生活について

幼い頃から絵を描くことが好きだった私は、大学では美術の勉強をしたいという思いがあり、吹奏楽部を引退すると音楽室から美術室に場所を変え、実技試験の対策を始めました。当時の美術の先生が熱心にデッサン指導をしてくださり、同じ目標を持つ仲間たちと切磋琢磨しながら練習を重ね、佐賀大学文化教育学部美術工芸課程（※現在は名称変更）に進学することができました。大学では自主性が尊重されるのびのびとした環境の中で思う存分制作活動に打ち込みました。しかしあまりにものびのびと過ごしてしまった結果、私の大学生活は就職先未定のまま卒業という結末を迎えてしまいました。

社会人生活について

目標を見失い就職先も決まらず、しかしお金を稼がなければご飯は食べられない、という社会の壁にぶつかり、しばらくバイトなどをしながら悶々と過ごす日々が続きました。ある時何かが吹っ切れて、とにかく一度「会社という場所で働いてみよう」と考えるようになりしました。福岡の雑貨卸の会社に運良く採用していただき、社会人の基礎から商売の仕組みまで様々なことを教えていただきました。この会社で学んだことは今でも多くの場面で

役に立っています。

会社員生活を続けて数年後、大学時代の先輩経由で、新しくオープンする飲食店がお店用にイラストを描ける人を探しているという話があり、思い切って挑戦してみることに。その経験で味わった感情が人生を動かすきっかけとなりました。当時まだ副業文化は一般的ではなく、もっと制作活動に集中できる環境を作りたいと思った私は退職を決め、初めて自分が本来やりたかったことを仕事にするために奮闘する日々が始まりました。展示会やイベントなど、未熟でも作品を世に出し続けることで新たな出会いや機会が増え、少しずつ企業のお仕事もいただけるようになり、5年ほど経った頃にイラストレーターとして独立しました。

春日高校の生徒に期待する点

私はただひたすらに好きなことを続けてきて、幸運にもそれを仕事にすることができました。たくさんの人々に助けられながら、今もまだその道の途中にいます。

「好きなことを仕事にする」ことは単純なようで難しく、うまくいかない時は余計不安になったり、時には好きだったことが嫌いになりそうになることもあります。それでも自分が本当にやりがいを感じられる仕事をして得られるものには何にも代え難い価値があるように思えて、この仕事をするようになってようやく私は自分の生き方に愛着を持てるようになりました。もちろん人生の価値観は人の数だけあるので、何が正解かなどという話ではありませんが、この先人でも多くの学生の皆さんが、自分で決めた自分らしい生き方で堂々と歩んでいける未来があることを願います。人生の本番はこれからです。

議案説明・事業報告及び事業計画について

令和6年度は、同窓会規約の見直しを総会に提案させていただき、8月10日(土)22期生を幹事に同窓会懇親会をホテルニューオータニ博多で開催でき、150名あまりで旧交を温める機会を提供できました。

また、役員会につきましても、集合型会議を開催し、今後の同窓会の課題について協議を重ねております。

令和7年度の実業計画には、学校創立50周年に向け準備委員会の組織化を提案しておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

本年度の実業計画につきましては、8月9日(土)同窓会懇親会の開催、学校行事の支援(社会人講演会・プレミアム研修)在校生・部活動等の支援、OB会・OG会・同期会等の支援を考えております。

同窓会の皆様には引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

以下に関係資料を添付いたしておりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

① 第1号議案

「令和6年度 事業報告」に承認を求める件(概要)

- 会議関連 1.総会 2.理事会 3.役員会 の実施
- 学校関連 1.学校行事への参加 2.同窓会入会式
3.在校生・部活動等への支援
- 同窓会広報誌「翔」26号発行
- その他 1.広報活動の充実・強化
2.支部・期生会・部活OB会等への支援及び連携
3.卒業式記念品製作

② 第2号議案

「令和6年度 春日高等学校同窓会決算書」に承認を求める件(概要)

● 収入

科目	予算額	決算額	差引額	摘要
合計	10,403,409	10,027,064	-376,345	

● 支出

科目	予算額	決算額	差引額	摘要
1.事業費	5,070,000	4,395,198	674,802	
2.広報費	2,800,000	2,280,691	519,309	
3.総務費	470,000	230,585	239,415	
4.積立金	2,000,000	2,000,000	0	特別会計積立金への支出額
5.予備費	63,409	0	63,409	
合計	10,403,409	8,906,474	1,496,935	

特別会計同窓会基金

● 収入

科目	予算額	決算額	差引額	摘要
合計	104,376,610	104,343,849	-32,761	

● 支出

科目	予算額	決算額	差引額	摘要
合計	2,800,000	2,283,766	516,234	

注意

議案の評決は右記の春日高校同窓会公式サイト
のQRコードを読み取り、「**評決権の行使**」
のサムネイルをクリックしてご回答ください。



③ 第3号議案

「令和7年度 事業計画(案)」に承認を求める件(概要)

- 会議関連 1.総会 2.理事会 3.役員会
- 学校関連 1.学校創立50周年の準備 2.学校行事への参加
3.同窓会入会式 4.在校生・部活動等への支援
- 同窓会広報誌「翔」27号発行
- その他 1.広報活動の充実・強化
2.支部・期生会・部活OB会等への支援及び連携
3.卒業式記念品製作

④ 第4号議案

「令和7年度 春日高等学校同窓会予算書(案)」に承認を求める件(概要)

● 収入

科目	予算額	昨年	昨年との増減額	摘要
合計	10,420,590	10,403,409	17,181	

● 支出

科目	予算額	昨年	昨年との増減額	摘要
1.事業費	5,150,000	5,070,000	80,000	
2.広報費	2,850,000	2,800,000	50,000	
3.総務費	390,000	470,000	-80,000	
4.積立金	2,000,000	2,000,000	0	創立50周年
5.予備費	30,590	63,409	-32,819	
合計	10,420,590	10,403,409	17,181	

特別会計同窓会基金

● 収入

科目	予算額	昨年	昨年との増減額	摘要
合計	104,740,083	104,376,610	363,473	

● 支出

科目	予算額	昨年	昨年との増減額	摘要
合計	3,000,000	2,800,000	200,000	

⑤ 第5号議案

「令和7年度 同窓会 新任理事(案)」に承認を求める件(概要)

※任期:令和6年度、令和7年度(令和8年度総会終了まで)

- 新任 齋藤奏輝(45期)、佐藤愛子(45期)、砂川美紀(23期)
児之原利佳(23期)、中橋裕介(23期)、松島正則(7期)
野田大介(17期)、野上竜太郎(32期)

【同窓会役員】

- 会長 藤田俊郎(1期) ● 副会長 新屋光太郎(15期)
- 常任理事 小國佳代(4期)、林靖子(7期)、柴田一寿(22期)
- 事業執行理事
総務部 書記・会計(予算管理)・規約・役員会運営・学校側との連絡など
山崎亨子(3期)、小國佳代(4期)、林靖子(7期)、山室勇二(30期)
会計 尾上英樹(17期)、森岡愛一郎(20期)
東京支部連絡係 森田哲次(4期)
事業部 総会・支援事業など
稲吉一馬(17期)、西里勇希(28期)、山田雄斗(30期)、中村真人(30期)
広報部 WEBサイト・会報誌・広告・データ管理など
國崎恭子(5期)、小田由恵(12期)、柴田一寿(22期)、岩崎里美(29期)
- 監事 樋口昭子(4期)、山下裕之(11期)
- 【相談役】 川崎英彦(1期)、松田美由紀(15期) 【同窓会事務局補助】 三善由香

令和6年度
同窓会賛助金のご報告
(令和7年5月31日現在)

- 支援者／75名
- 支援総額／260,160円

ご支援いただいた賛助金は、すべて本年度一般会計に繰り越し、同窓会の活動資金(学校支援・期生会支援・OB会支援など)に運用させていただきます。※詳しくは同封の振込用紙をご覧ください。
賛助金にご協力いただいた方は会報誌へ氏名を掲載いたします。氏名の掲載を希望されない方は、振込用紙の通信欄へその旨を記載願います。

引き続き『賛助金』へのご理解・ご協力をお願いいたします。

※詳しくは同封の振込用紙をご覧ください。

賛助金専用郵便口座

01730-9-56016

名義／春日高等学校同窓会

ご注意ください！

全国的に高校等の卒業生名簿(同窓会名簿等)を悪用した振り込み詐欺の被害に遭う事案が多発しています。つきましては、以下の点には充分ご注意くださいようお願いいたします。

春日高校同窓会では電話による振込み依頼などは一切行っておりません。